

2027年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年7月6日 東

上場会社名 株式会社きよくとう 上場取引所  
 コード番号 2300 URL <http://www.ci-kyokuto.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 和美  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 丸林 凡和 (TEL) 092-503-0050  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年2月期第1四半期の業績 (2026年3月1日~2026年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期第1四半期	1,854	△4.3	372	△10.7	383	△13.3	273	△10.7
2026年2月期第1四半期	1,938	△4.7	417	△17.3	442	△16.6	306	△16.6
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2027年2月期第1四半期	52.04		—					
2026年2月期第1四半期	58.25		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期第1四半期	4,812	2,528	52.6
2026年2月期	4,408	2,302	52.2

(参考) 自己資本 2027年2月期第1四半期 2,528百万円 2026年2月期 2,302百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	5.50	—	5.50	11.00
2027年2月期	—	—	—	—	—
2027年2月期(予想)	—	5.50	—	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年2月期の業績予想 (2026年3月1日~2027年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,200	2.2	320	3.4	360	1.3	250	1.8	47.51
通期	5,350	2.0	100	—	180	87.9	120	122.7	22.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年2月期1Q	5,551,230株	2026年2月期	5,551,230株
② 期末自己株式数	2027年2月期1Q	290,234株	2026年2月期	290,204株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年2月期1Q	5,261,005株	2026年2月期1Q	5,261,116株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、中東情勢の影響を受けてエネルギーや原材料価格が上昇し、企業収益を圧迫しております。また、個人消費におきましても、物価上昇による家計の負担増が続いており、買い控えや生活防衛を意識した消費行動が増えるなど消費者マインドは依然として低迷しています。

当社におきましても、燃料費や原材料費などのコストが大幅に上昇し、加えて、消費者マインドの低迷からクリーニングの出し控えが見られるなど、厳しい経営環境で推移しております。

このような経営環境の中、当社は、店舗リニューアルを含めた設備投資、春の衣替えシーズンに合わせた販促活動など積極的に実施しました。

設備投資は、昨年5月に事業の一部譲受けにより福岡県久留米市に4店舗を取得したことにより、業務効率化と福岡県久留米市でのシェア獲得による売上拡大を目的として、令和8年3月より久留米プラントの稼働を開始しました。加えて、新規出店1店舗と既存店舗のリニューアルを14店舗実施しました。当第1四半期累計期間末の店舗数は、新規出店1店舗と不採算店2店舗の閉鎖で477店舗となりました。

販促活動は、春の衣替えシーズンに合わせて防虫加工やデラックス仕上げなどの付加価値商品の販売強化に努めました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高は1,854,937千円と前年同四半期と比べ83,872千円(4.3%)の減収となりました。

利益につきましては、営業利益は372,569千円と前年同四半期と比べ44,741千円(10.7%)の減益、経常利益は383,782千円と前年同四半期と比べ59,051千円(13.3%)の減益、四半期純利益は273,830千円と前年同四半期と比べ32,663千円(10.7%)の減益となりました。

なお、当社の属するホームクリーニング業界は、通常の場合、春の衣替えの時期に重衣料が洗濯物として出されるため春場に最需要期を迎えます。したがって、当社の売上高は、第1四半期に偏る傾向があり、四半期の業績に季節的変動があります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて426,536千円増加し、1,024,488千円となりました。これは、現金及び預金が201,369千円、売掛金が165,728千円増加したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて22,464千円減少し、3,787,910千円となりました。これは、投資有価証券が27,417千円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて404,071千円増加し、4,812,398千円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて243,072千円増加し、1,347,631千円となりました。これは、短期借入金70,000千円、1年内返済予定の長期借入金19,984千円減少したものの、未払法人税等117,097千円、未払金54,088千円、買掛金27,686千円増加したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて65,000千円減少し、935,794千円となりました。これは、長期借入金37,962千円、役員退職慰労引当金20,946千円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて178,071千円増加し、2,283,426千円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて225,999千円増加し、2,528,971千円となりました。これは、その他有価証券評価差額金18,880千円減少したものの、利益剰余金244,894千円増加したことによります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年2月期通期の業績予想につきましては、現時点において、2026年4月15日に発表した業績予想と同じであり、変更はありません。なお、中東情勢の影響が長期化した場合の業績に与える影響につきましては、現時点において合理的に見積もることが困難であるため、今後の動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には適切に開示してまいります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2026年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	322,301	523,670
売掛金	99,560	265,289
商品	19,810	18,146
原材料及び貯蔵品	27,668	41,568
前払費用	70,106	74,022
その他	62,122	122,869
貸倒引当金	△3,616	△21,079
流動資産合計	597,952	1,024,488
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	217,332	227,094
土地	1,645,856	1,645,856
その他(純額)	52,552	57,348
有形固定資産合計	1,915,741	1,930,300
無形固定資産		
のれん	38,381	34,829
その他	168,052	158,201
無形固定資産合計	206,433	193,030
投資その他の資産		
投資有価証券	840,846	813,428
差入保証金	431,600	429,654
その他	424,232	429,891
貸倒引当金	△8,478	△8,395
投資その他の資産合計	1,688,200	1,664,579
固定資産合計	3,810,375	3,787,910
資産合計	4,408,327	4,812,398
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	22,728	50,415
短期借入金	300,000	230,000
1年内返済予定の長期借入金	207,757	187,772
未払金	349,296	403,385
未払法人税等	14,727	131,825
賞与引当金	21,793	29,430
資産除去債務	303	828
その他	187,952	313,973
流動負債合計	1,104,559	1,347,631
固定負債		
長期借入金	456,960	418,998
退職給付引当金	179,177	182,703
役員退職慰労引当金	129,429	108,483
資産除去債務	108,368	108,089
その他	126,859	117,520
固定負債合計	1,000,795	935,794
負債合計	2,105,355	2,283,426

(単位:千円)

	前事業年度 (2026年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2026年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	555,092	555,092
資本剰余金	395,973	395,973
利益剰余金	1,010,932	1,255,826
自己株式	△167,015	△167,029
株主資本合計	1,794,983	2,039,863
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	507,988	489,107
評価・換算差額等合計	507,988	489,107
純資産合計	2,302,971	2,528,971
負債純資産合計	4,408,327	4,812,398

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自2025年3月1日 至2025年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自2026年3月1日 至2026年5月31日)
売上高	1,938,809	1,854,937
売上原価	422,897	426,586
売上総利益	1,515,912	1,428,351
販売費及び一般管理費	1,098,601	1,055,781
営業利益	417,310	372,569
営業外収益		
受取利息	34	121
受取配当金	7,283	10,313
受取家賃	16,487	16,316
その他	6,131	7,404
営業外収益合計	29,936	34,155
営業外費用		
支払利息	3,099	3,595
貸倒引当金繰入額	—	17,927
減価償却費	1,312	1,312
その他	0	106
営業外費用合計	4,413	22,942
経常利益	442,834	383,782
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	—	17,760
特別利益合計	—	17,760
特別損失		
固定資産除却損	128	28
特別損失合計	128	28
税引前四半期純利益	442,705	401,514
法人税等	136,212	127,683
四半期純利益	306,493	273,830

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、ホームクリーニング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	23,436千円	26,682千円
のれんの償却額	3,297千円	3,551千円